次で會我委員長は、それでは本日は大體之だけに致しまして次回は懇談的に御自由な御討議を願つたらどうかと思ひます。次回の期日は改めて御通知申上げることゝ致します本日は是にて散會致しますと閉會を告げた。時に正午。

行幸美談

埼玉縣土木課

行幸に際して美談佳話は屢々報道されて國民の赤心を象徴してゐるがこれは一傭人の身を以て私情を滅して自己の職責を全ふした聞くも涙ぐましき美談である昭和十四年四月二十七日本縣入間郡豐岡町陸軍航空士官學校へ行幸仰出さるるや百五十萬縣民は恐懼感激し只管當日を御待ち申上げた本縣に於ては御警衛は申す迄もなく奉送迎及御道筋の修路に萬全を期して其の準備に努めた本話の主金子關次郎は埼玉縣に職を奉ずる道路工夫で本縣道路工夫表彰規程に依り再三表彰せられた者であつて御道筋の修路を命ぜらるるや其の光榮に感激し數ケ月前から病床にあつて然も重態にあつた妻に此の旨を告げた處同女は一家一門の光榮なる故心置なく職責を全ふする樣と涙を浮べて激勵したこの健氣な言葉に勇躍した金子工夫は同僚及上司には後患を秘して三日間に亘る修路作業を全ふし急遽歸宅無事大任を果し得た喜びを病妻に語つた。時既に臨終寸前にあつた妻は苦悶の中から微笑を浮べて其の勞を犒ひ夫に見守られつゝ遂に極樂淨土の客となつた。然し三日間に亘る大任を果して歸り尙瀕死の妻の臨終に間に合つた事は一に神慮によるものと言ふべきであるが行幸の光榮に浴させる爲め病床から激ましてくれた妻の死には流石鐵石心腸の彼も其の心情を

察して動哭した。後からこの話を傳へ聞いた直接の上司松山土木事務所長は其の事情を詳見して表彰方を上申する所があつた依つて本縣に於ては金一封を添へ左記の通り其の篤行を表彰した尙讀賣新聞及東京朝日新聞はこの美談を傳へて賞讃したその記事は左の通りである。茲に興亞の大業に邁進しつゝある重大なる時局に際し謹みて　聖壽の萬歳を祈り奉り本誌上を借りてこの土木關係人の赤誠美談を江湖に傳へる次第である。

表　彰　狀

松山土木事務所勤務

道路工夫　金子關次郎

右者昭和十四年四月二十七日陸軍航空士官學校へ行幸ノ砌私情ヲ減シテ克ク其ノ責務ヲ全フセシハ洵ニ奇特ニ付金一封ヲ呈シ之ヲ表彰ス。

昭和十四年五月十八日

埼玉縣經濟部長　笹山茂太郎

讀賣新聞掲載（昭和十四年五月四日）

優秀道路工夫金子さん

松山町土木工區事務所詰比企郡唐子村上唐子金子關次郎（五八）さんは去月廿七日の行幸に優秀道路工夫として縣の推薦で修理に奉仕したが妻きよ（五七）さんは明日をも知れぬ死の床にこれを知り

かゝる光榮ある大任を私事で疎そかにしては國民として申譯けない。

と激勵これに勵まされた關次郎さんは一切を秘して三日間御道筋修理に奉仕廿八日早朝歸宅したが妻女きよさんは同時に永遠の眠りについたこの報を始めて知つた松山土木事務所では感激して縣に表彰方を具申した關次郎さんは

私よりも死んだ女房を賞めてやつて下さい。

と謙遜して語つた。

東京朝日新聞所報（昭和十四年五月四日）

工夫の妻美しい死

奉仕の夫を勵まして

比企郡唐子村上唐子松山土木出張所勤務道路工夫金子關次郎さん(五八)は去月廿七日行幸の御砌御道筋の道路工夫に選ばれ二十五日から三日間道路修理に奉仕したが同君の妻きよさん(五七)は數ケ月前より病床にあり夫の奉仕に上る前日頃から容態が悪化全く危篤狀態に陷つたが當日きよさんは苦しさを押し隱し氣丈にも〃私の事は心配せず無事お務を果して下さい〃と夫を激勵した。

同君も一家の光榮だからと看護を家族に賴み心身を清めて出發三日間の大任を果して二十八日妻の病氣を氣づかひながら歸宅病床のきよさんに〃無事に務めて來た〃と告げると〃御苦勞樣でした全く有難い事です〃と感激の涙を浮べて安堵した如く靜に死去した。

この赤心たぎる美しい關次郎さん夫婦は弔慰客を始め近所の人々を感泣させたこの事が松山土木事務所に知られ所員を痛く感激せしめ早速縣に表彰方を具申する事となつた。

街道異聞

產杉の由來

瀧口利太郎

土佐の國で最も急流だと云はれゐる、奈半利川の河口に奈半利といふ小さな町がある。こゝから東へ向つて、峯傳ひに、野根町に至る舊道は、今は通行の人も少なく、營林署の役人が、杣や木挽の人々が時たまに通る位だ。